

出会いは、
友人の葬儀だった

身寄りのなくなった
少年を
疎ましがる親族のなか

彼は涙のひとつも流さず
ただ両親の遺影を
見つめていた

その横顔が
もういない親友と
重なって――

うちに来るか？

思わずそう
声をかけたのが

すべてのはじまり





友人の息子

それから2年

たっ
たっ

突然
走り出すな！

病み上がりの体に
何かあったら――

たっ
たっ

山谷ありながらも
幸せな日々を過ごし
今では実の親子の
ようになった

そして今夜――

あー

もー

心配症だなあ
ヨシヒトさんは

そして――

ザッ

ザッ

こら、アユム！

今夜 俺は

ちよつと走るくらい
大丈夫だって

激しくなければ
運動もOKって
お医者様も言ってた
じゃない

彼を抱く

それに
病み上がりって
言ってたって――

体が
男から女になった
だけだもん

前とたいして
変わらないよ

……

――『性転換症候群』

通称『TS病』

その名のとおり
罹患者の性別を
変える奇病だ

現代医療を
もってしても
まだ原因も治療法も
わかっていない

わかってるのは
思春期の男女に
多いこと

特に変化の大きい性器は
未成熟なことが多く

性転換の際
変化しきれず
前の性の名残が
残ることもあること

そして

TS後すみやかに
その機能を使うことが
求められること――



俺は今日
友人の息子と

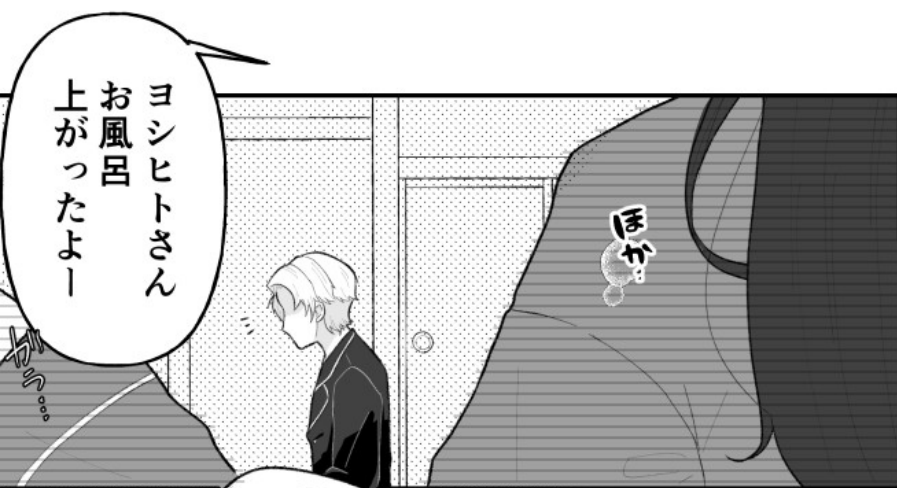
実の子のように
育てたこの子と

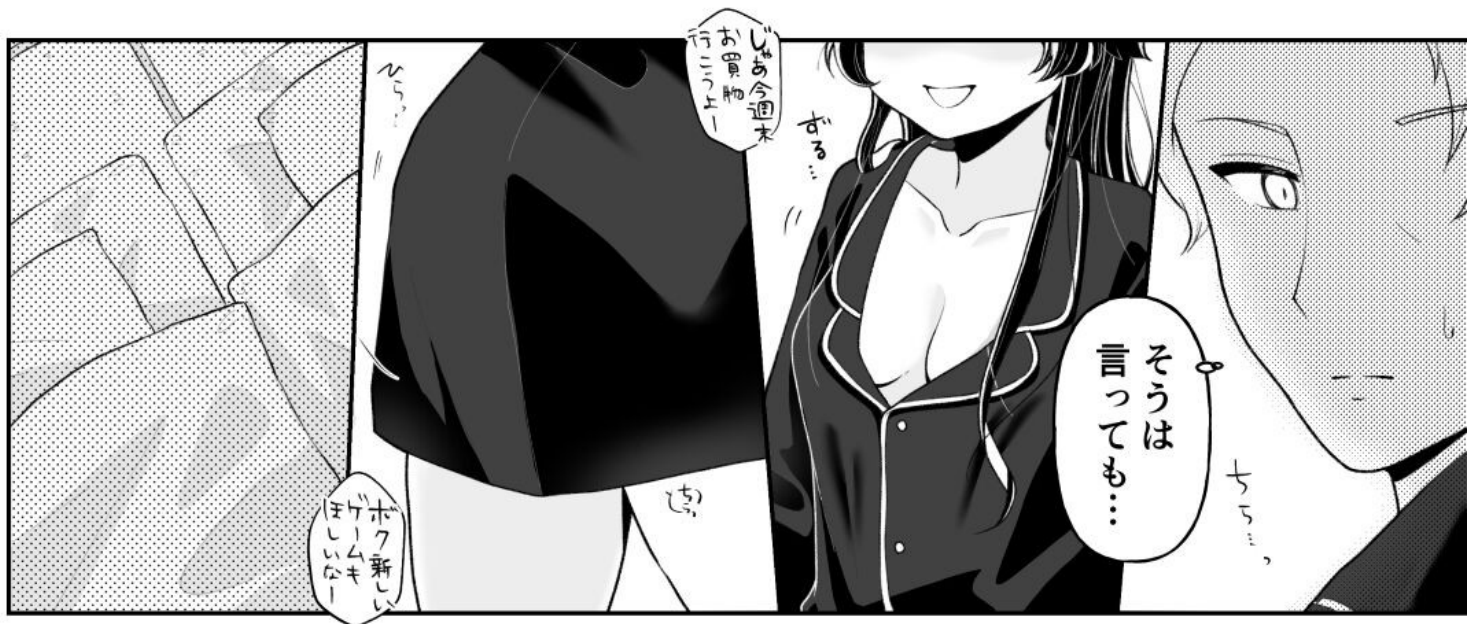
夕焼け
きれいだよ

つまり 異性とセックス
しなければならぬ

セックスをする
…他ならぬこの子のために









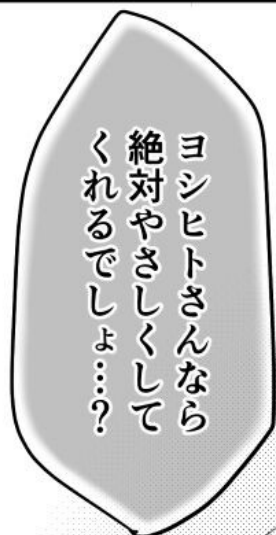
というよりも…



そもそもこれは
治療なのだし…



そ—
んなことは
気にしなくて
いい！



ヨシヒトさんなら
絶対やさしくして
くれるでしょ…？



知らない人なんて
こわい…！
ヨシヒトさんがいいよ



アユムこそいいのか？
セツ…行為をするにしても
見知った者では
気まずいだろう

なんなら病院の方から
その手のプロを紹介
できるらしいが…

—!?
嫌だよ！

アユム…

じ…

覚悟はもう
できているのか…
それなら

俺も覚悟を決めて
この子のために
できることをしよう—

…わかった

…痛くないか？

う、うん…

柔らかい…
それに感度もいいな

胸だけでこんなに
感じるなら
これ以上したら
いったいどうなるのか…



いや何を考えて
いるんだ俺は…！

アユムの人生の
一大事って時に…！

落ち着け
これは治療
これは治療……



ヨ、ヨシヒトさん…!?
そこは…！

さきって…
それは、そう
だけど…！

大丈夫だ
だから力を抜け
ここを解して
やらんことには
先に進めない



濡れてはいる
…が

さすがに狭いな
入口が限界か…

もう少し
解さないと…

そうは言っても
これだけ体が
こわばってでは…

せめてもう少し
体のちからを
抜いてくれれば…

ひうっ!?

ふる…

ふる

あっ?♡
な、何そこ...っ!?

変な感じがす...
ああっ!♡

クリトリス...
男でいうペニスの
ようなものだ

こっちの感覚の方が
おまえも慣れて
いるだろう?

...よし、少し
解れてきたな
ちゃんと感じても
いるようだし...

このままここを
弄り続けられ...

待って!



や、やめてって
言っても…
ヨシヒトさんやめて
くれないし…

ぐい

こんな強い感覚…
はじめてだから…
びびっくりしちゃった
だけ…です…



オロ
すすすすまない！
ど、どこか
痛かったか…!?
オロ

ぐい
ち、ちが…
痛いとかじゃ…

ぐい
むしろきもちい、
くらいだけど…



ヨシヒトさんは
ボクのために
やってくれてるって
わかってるのに…

ごごめんなさい…

……



俺は—

何をやって
いるんだろう

いくら治療
だからって
お互い望まぬ
行為だからって

アユムを
怖がらせていい
わけないのに



セックスを『こなす』ことに
囚われて アユム自身を
見ていなかった

くしゃっ

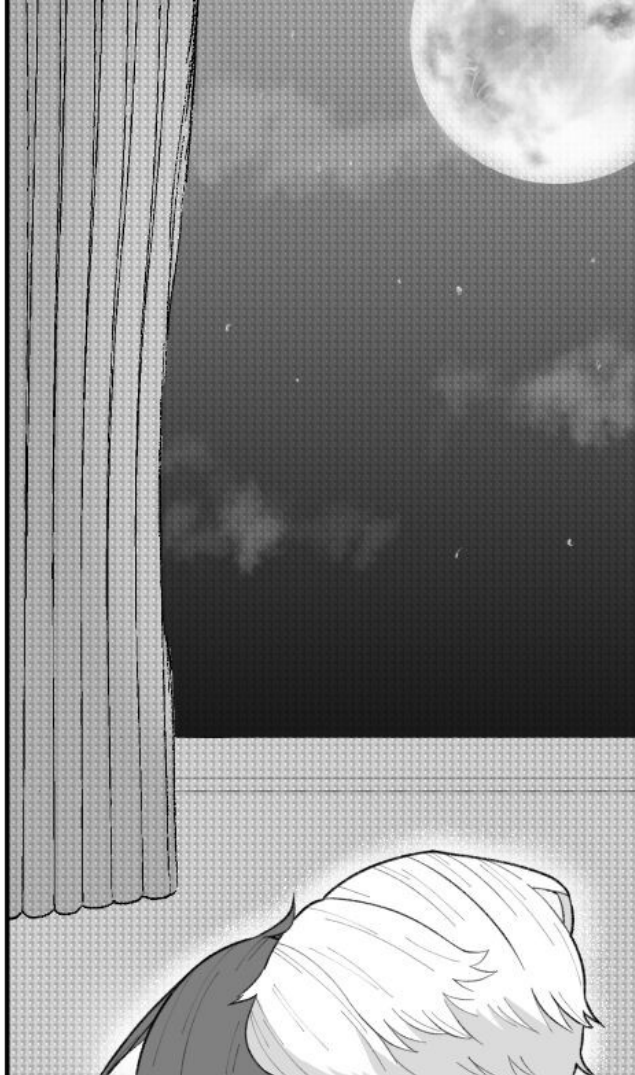
…？

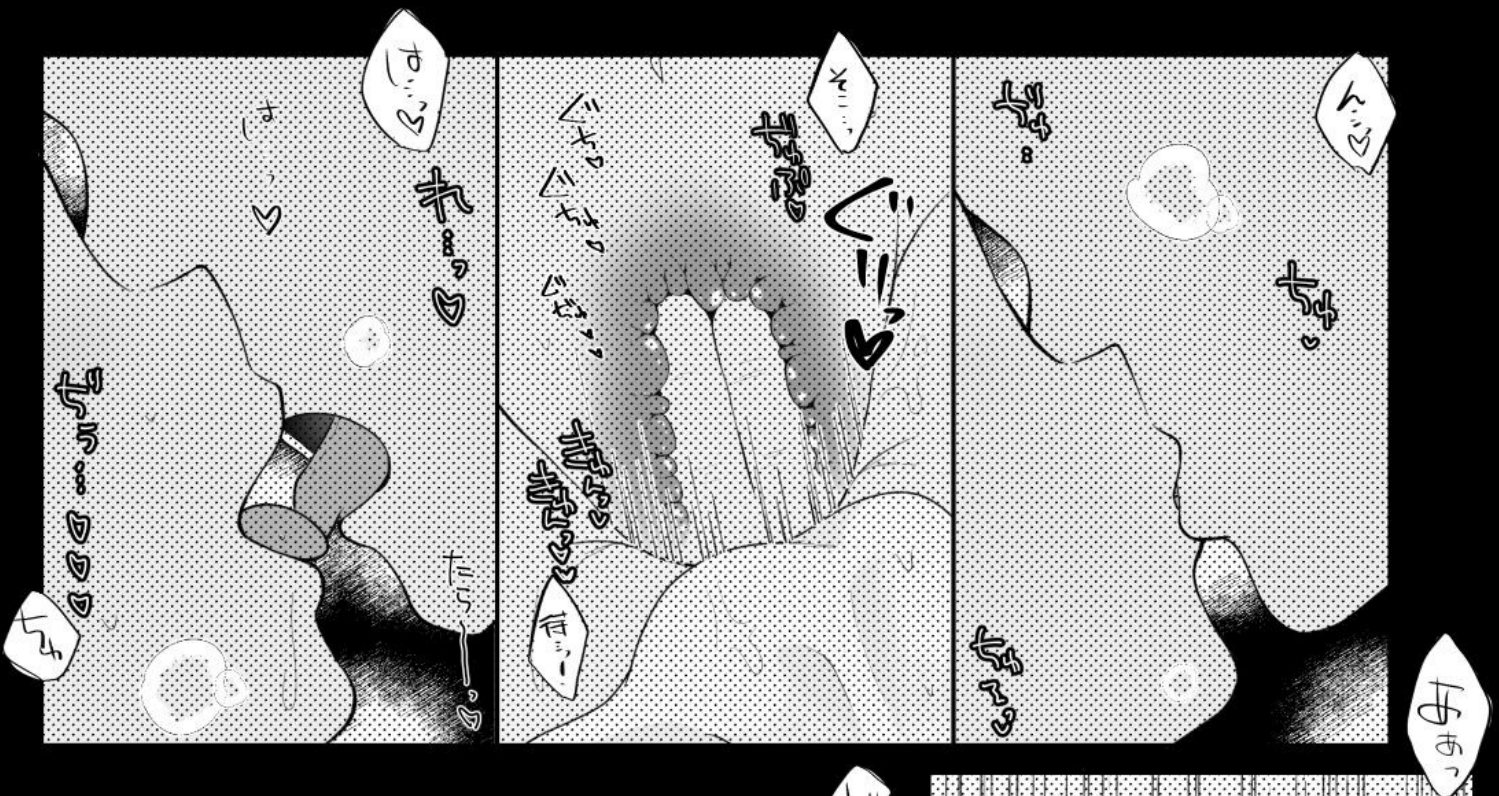
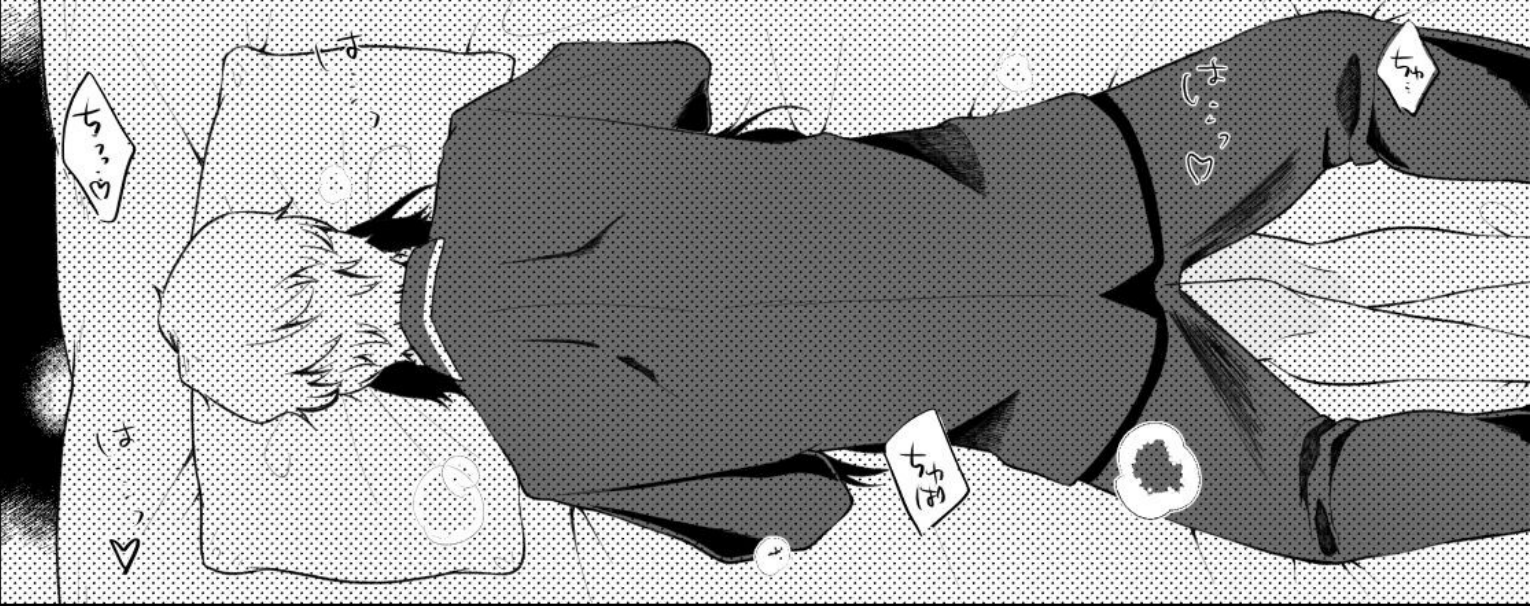
ヨシヒトさん？
どうし…

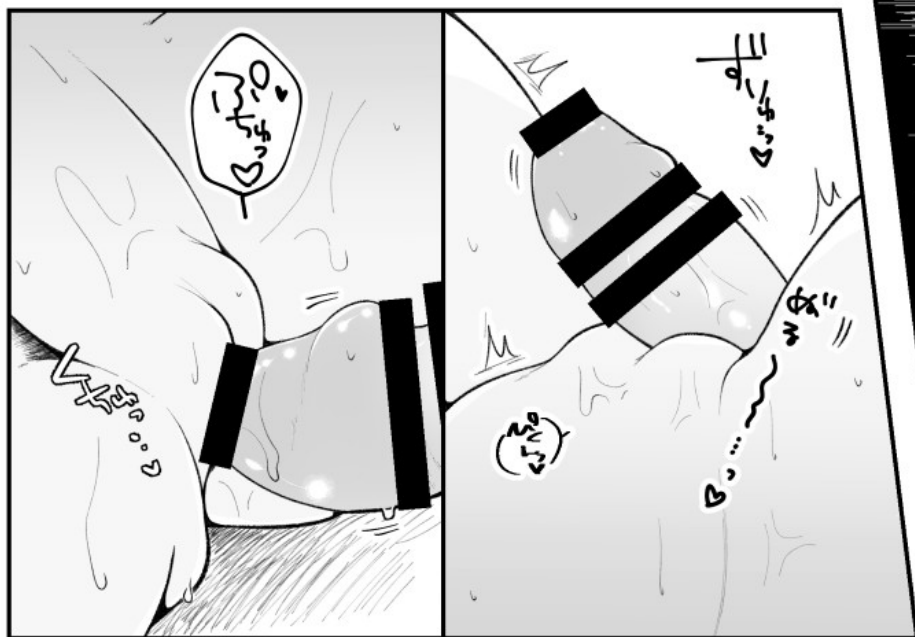
この子に
とっては

……！

これが初めての
愛の行為なのに





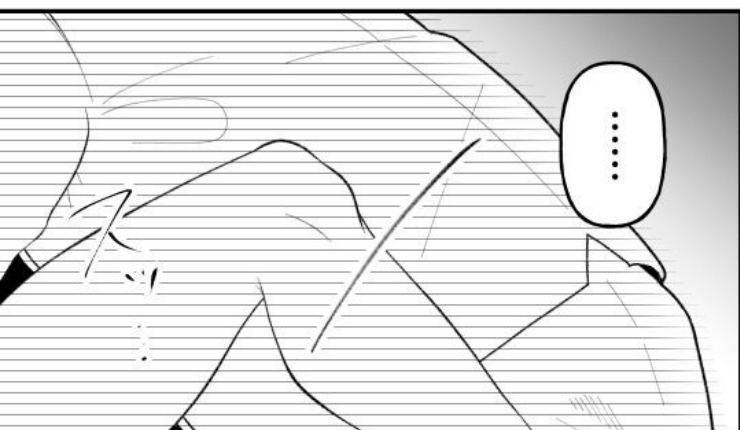


そんな目で…



…本当は
まだ迷っている

本当に俺でいいのか
この行為自体
間違っている
んじゃないのか…



…これは
治療だって

ヨシヒトさんが
言った

おまえが男だろうが
女になろうが

俺にとっては
大切な友人の
忘れ形見だ

それを自分の手で
傷つける…
自分自身がまだ許せない

この2年間
ヨシヒトさんに
傷つけられた
ことなんてないよ

それどころか
ボクに優しく
してくれたのは
あなただけだった

今もそう

突然こんな病気に
かかったボクを

あなたはただ
受け入れてくれた

そんなヨシヒトさん
だから ボクはいいの
何されたって...

むしろ
ヨシヒトさん
じゃなきゃ嫌なの

ボクは

ヨシヒトさんの手で
女の子になりたい



入った…が
さすがに狭いな…

半分程度が
限界か…

無理をさせる
わけにはいかない

今日のところは
これくらいで—

うっ…

！ どうしたアユム
どこか苦しいのか？

ううん…
だいじよぶ…

それより

ヨシヒトさんこそ
大丈夫…？

ちゃんと全部…
はいった…？

ああ…
大丈夫だ

本当は半分
くらいだけど

俺のことはいい
もし少しでも
つらいのなら…

ボクはほんとに
だいじよぶだよ



むしろ…
うれしい

ボク…

ちゃんと『女の子』
できてるんだね…

なーんて…

いっ
きゅん

おちんちん

ぎゅん
ぎゅん
ぎゅん

俺はいつたい
何をして
いるんだろう

アユムに—
大切な友人の
息子に

いやちがう
これは治療だ

これは治療だから
仕方なく

この行為には俺の意思も
アユムの意思も関係なく…

だけど――

キス♡

キス！

待っ…！ あっ
それ、ヘン…っ

イキそう
なのか…

いっしょにされると…
ヘンなのがキそう…！

大丈夫だ
そのままそれに
身を任せていい

でもこれ
こわ…

だ…から…

おねが、
ヨシヒトさ…っ

もう一回
キスして…



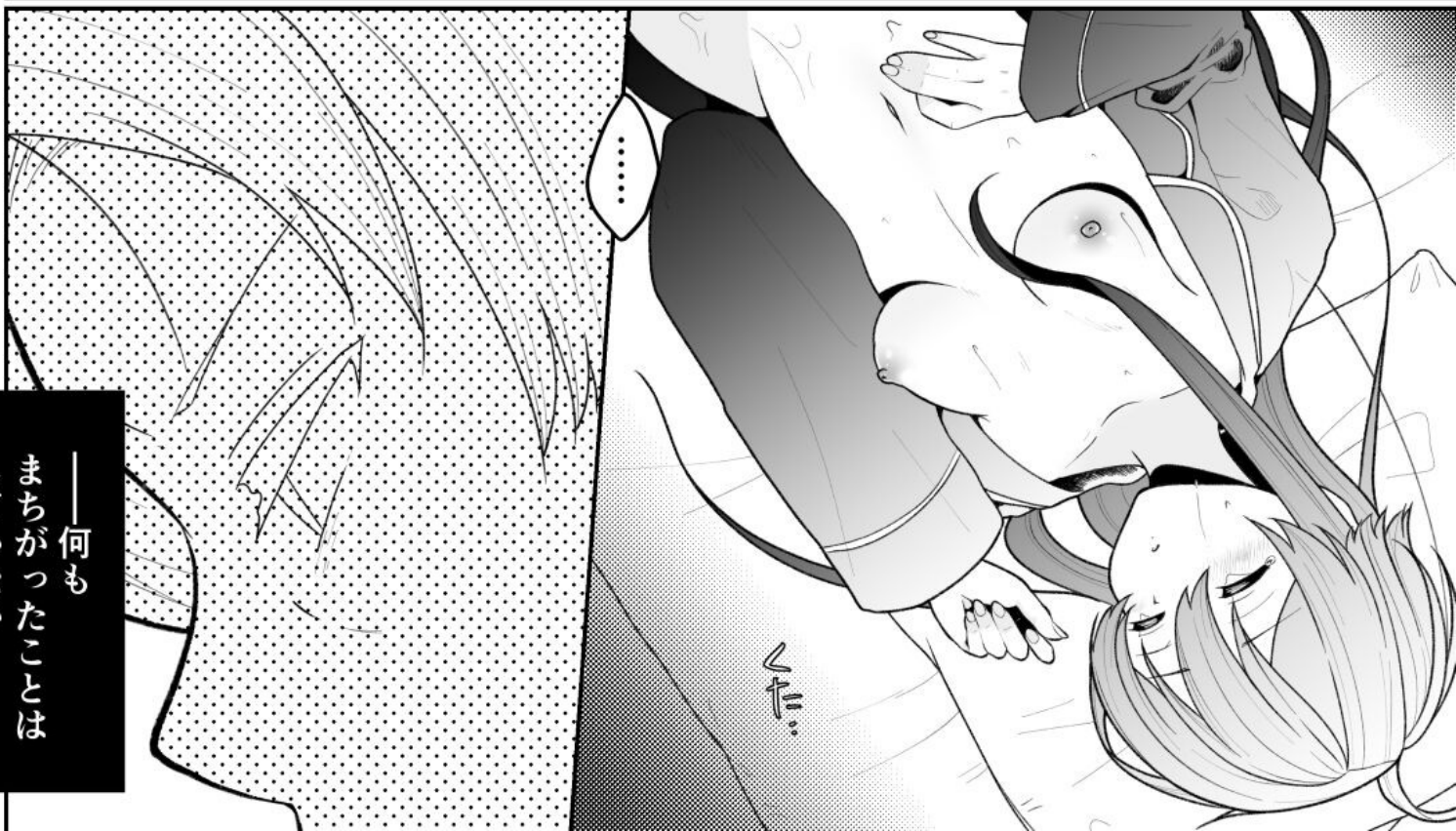
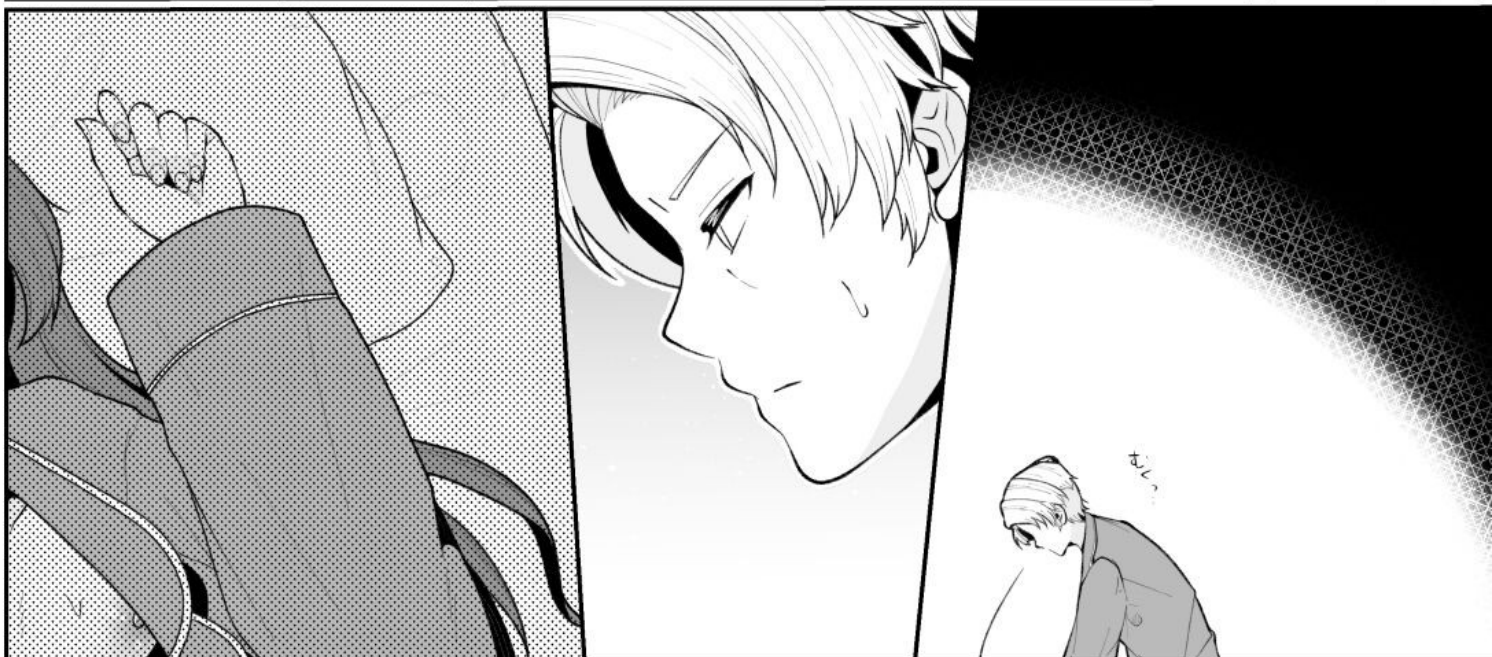
ただどー



今感じている
この気持ちは

本当に
『アユムのため』のものなのか...?





—何も
まちがったことは
していない



ヨシヒトさん

だけど――



これは治療で
アユムのために
したことだ

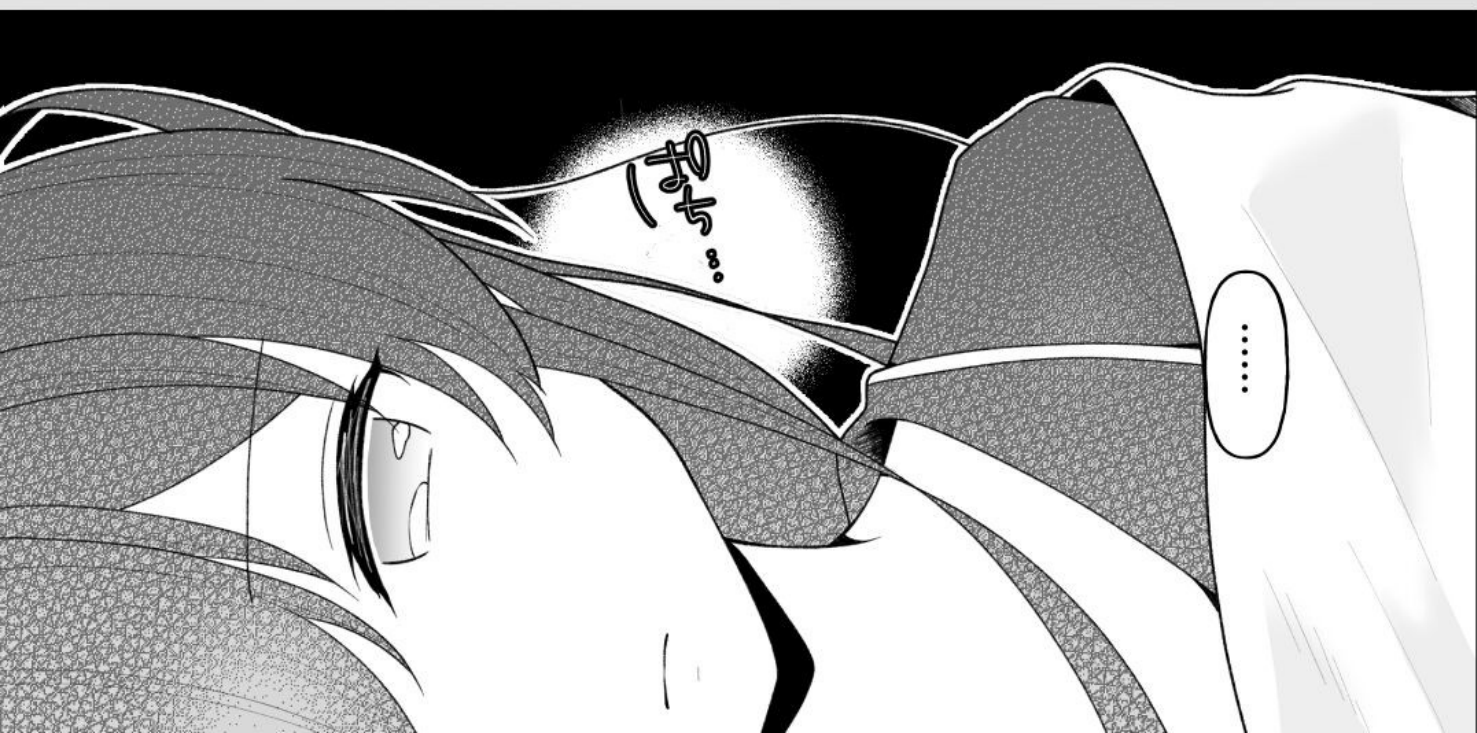
アユム自身が
望んだ結果だ



：顔
洗ってこよう

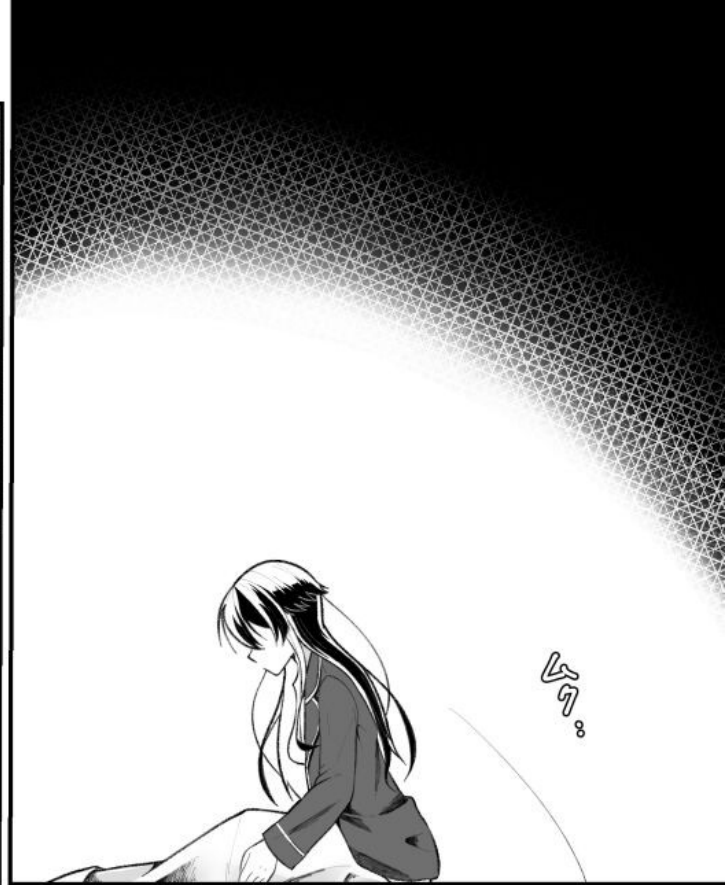
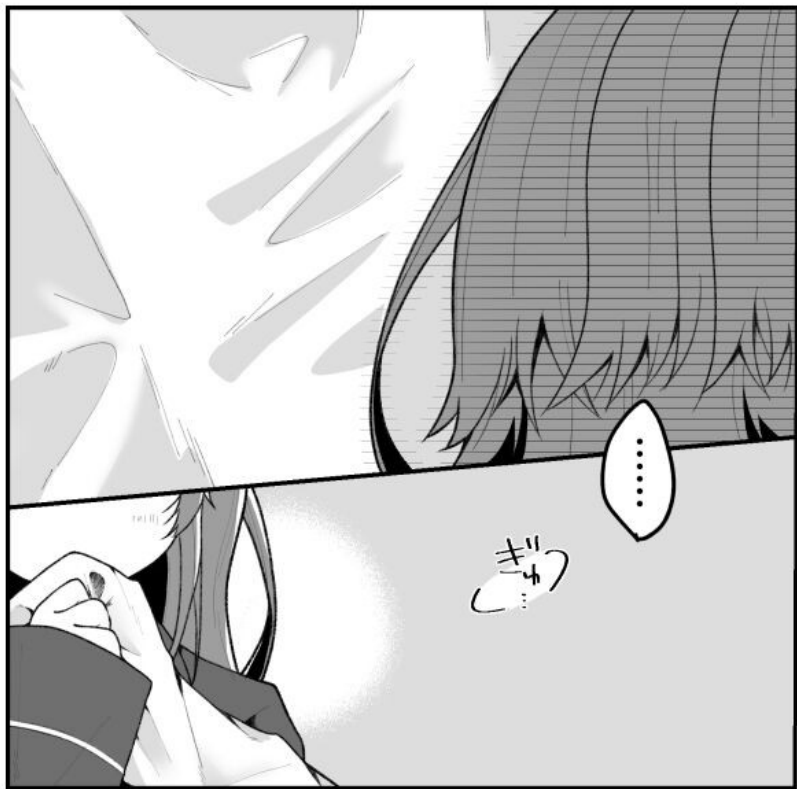
かちゅ

かちゅ



かちゅ

……



きつと今ごろ
罪悪感に駆られてる

ボクにひどいこと
してしまったって
父さんや母さんに
申し訳ないって

女のユになったこと
ボクには嬉しかったって
知りもしないで



うちに来るか？



こんなことがあって
ヨシヒトさんはもう
ボクを捨てられない

ボクが男のまま
だったらきつと

とこかのタイミングで
離れなきゃ
いけなかったから



…あの時ボクなんか
拾わなければ

しがみつかれる
こともなかったのにね

一生そばにいるから
一生大切にね

…ねえ、
ヨシヒトさん